

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公開番号】特開2013-75537(P2013-75537A)

【公開日】平成25年4月25日(2013.4.25)

【年通号数】公開・登録公報2013-020

【出願番号】特願2011-214917(P2011-214917)

【国際特許分類】

B 6 0 W	10/06	(2006.01)
B 6 0 W	20/00	(2006.01)
B 6 0 K	6/46	(2007.10)
B 6 0 W	10/26	(2006.01)
F 0 2 D	29/06	(2006.01)
F 0 2 N	11/04	(2006.01)
F 0 2 N	11/08	(2006.01)
F 0 2 N	15/00	(2006.01)
B 6 0 L	11/14	(2006.01)
B 6 0 L	11/18	(2006.01)

【F I】

B 6 0 K	6/20	3 1 0
B 6 0 K	6/46	Z H V
B 6 0 K	6/20	3 3 0
F 0 2 D	29/06	D
F 0 2 N	11/04	D
F 0 2 N	11/08	L
F 0 2 N	11/08	M
F 0 2 N	15/00	E
B 6 0 L	11/14	
B 6 0 L	11/18	A

【手続補正書】

【提出日】平成27年6月2日(2015.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

内燃機関と駆動モータを搭載し、少なくとも内燃機関を停止したまま走行可能な車両には、レンジ・エクステンダー型電気自動車やプラグインハイブリッド車(PHEV)などがある。これらの車両の駆動制御装置は、内燃機関と駆動モータを制御する駆動制御手段を備え、内燃機関を停止したまでの走行中に駆動用バッテリの電力貯蓄状態であるSOC(State Of Charge)が低くなると、内燃機関を始動するよう制御する。

特開2011-121482号公報には、内燃機関の停止時間に応じて始動のきっかけとなる車速を変更する技術が開示されている。

特許第3214150号公報には、駆動モータ単独の駆動力で走行可能なパラレル型ハイブリッド車において、内燃機関の始動性悪化を防ぐため制動力をを利用して内燃機関を作動させる技術が開示されている。

特開2010-174840号公報には、キャニスタのページ必要量に応じて、内燃機関の始動SOC閾値を調整することにより、内燃機関の始動頻度を変える技術が開示されている。

特開2010-158927号公報には、休止時にキャニスタに回収した蒸発燃料ガスを、プラグインハイブリッド車のバッテリ残量に関わらず燃費悪化を最小限に内燃機関を運転しページする技術が開示されている。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2011-121482号公報

【特許文献2】特許第3214150号公報

【特許文献3】特開2010-174840号公報

【特許文献4】特開2010-158927号公報